

今週の活動から



8月6日(土)・7日(日)に行われた第70回あつぎ鮎まつり、2日間で70万人が来厚。6日の1万発の花火大会には53万人と、県内でもトップクラスの

来場者数でにぎわいました。今年のナイヤガラは昨年の市制60周年にあやかった600メートルよりさらに長い700メートルだったので、さぞ見事だったことでしょう。最後の打ち上げ花火は「みんなの花火」、市民の皆さんからの協賛です。個人だけでなく、あつぎ九条の会ネットワークなどの団体も協賛しました。また有料観覧席は厚木側の3000席は発売10日目で完売、海老名側の2500席もほぼ完売。今年は海老名側の後方席では三脚も使えると

いうことでカメラを据えて花火の鑑賞をした人もいたようです。

(上：鮎まつりのオープニングパレード 栗山香代子議員。下：鮎まつりに招待された友好都市・横手市の日本共産党・立身万千子議員と一緒に。右：釘丸久子議員、左：栗山香代子議員)



た友好都市・横手市の日本共産党・立身万千子議員と一緒に。右：釘丸久子議員、左：栗山香代子議員)

8月の法律相談

8月23日(火)1時30分～

前日迄の連絡を!

8月は平和を考える月



8月は平和と戦争を考える月。71年前の8月6日に広島に、9日に長崎に原子爆弾が投下され、多くの人が命を失いました。その後8月15日には終戦となりました。厚木市でも毎年、8月には平和月間として様々な行事があります。

ピースメッセージ展示会

8月5日から8日までアミューあつぎ5階のギャラリーで、市民の皆さんから寄せられた戦争や平和についてのメッセージを展示した「ピースメッセージ展示会」が開かれました。短期間だったので、見逃してしまった方がいるのではないのでしょうか。

宛先のあるものは展示会後に郵送しましたが、それ以外のメッセージが睦合南公民館と南毛利公民館に約60枚ずつ展示されています。期間は8月31日まで。

メッセージもさることながら、切り絵が見事です。職員が一字一文字、紙を切って作ったものだと思います。平和への強い思いがここにも表れているのではないのでしょうか。

上：見事な紙切りの文字の看板。切り絵も随所に。下：南毛利公民館一階に展示のピースメッセージ。



世の中がどうなっていくのか想像せずに生きていくのは楽だけれど、気がつくとならば隣に戦争が来ていた一人ひとりが意識し行動すべき時です。

戦没者追悼式

平和月間である8月には、恒例の「戦没者追悼式」があります。今年は11日(山の日)に厚木市文化会館小ホールで行われました。

市長の式辞では、今年5月27日にアメリカのオバマ大統領が広島を訪れたこと、長崎の被爆樹クスノキが厚木中央公園に植樹されたことを取り上げ、「核のない平和な世界は、世界共通の願いです。この願いの実現に向け、厚木市としても平和への取り組みを推進してまいります」と。また、県知事(代理)は天皇がフィリピンを訪れたことにも触れ、平和を訴えました。

式典後は、南毛利中学校合唱部の演奏。コンクール課題曲やNHK朝のテレビ小説の主題歌「365日の紙飛行機」のほかに、沖縄戦をテーマにした「さとうきび畑」も歌い、「戦争の悲惨さを私たちも語り継いでいきたい」と話しました。

話題あれこれ

厚木出身のドラマー、あつぎジャズナイトのトリを

あつぎジャズナイト2016が、8月25日(木)・26日(金)の夜、厚木公園で開かれます。平日の夜なので、勤め帰りの方も多く、市外・県外からもこのために来るという方もいて、年ごとに賑わっています。ビール片手に音楽と食事を楽しむ、夏のひと時の恒例イベントです。

市内や近隣の大学のジャズバンドやアマチュア、プロなど主に厚木ゆかりのグループ・個人が演奏します。両日とも午後3時に始まりですが、開会セレモニーは25日の5時5分からです。

先日、偶然、25日のトリで、厚木市ゆかりのプロ4人が組む「Augusties」(本厚木キャビンズペシャル)のメンバーのうちの2人にお会いしました。依知出身のドラマーで、歌手ミッシェルのバックバンドをつとめるTomoko Kannoさん、長谷在住でサックスの鎌倉淳さん。党議員団、今年は彼らの演奏を最後まで見るつもりです。

26日のトリは在日米軍楽隊ですが、音楽に国境は無し。誰でもが純粹に音楽を楽しめる平和な世の中であることを願い、守りたいと思います。